

#### 4. 職業について

##### (1) 進路・職業の選択時における性別意識

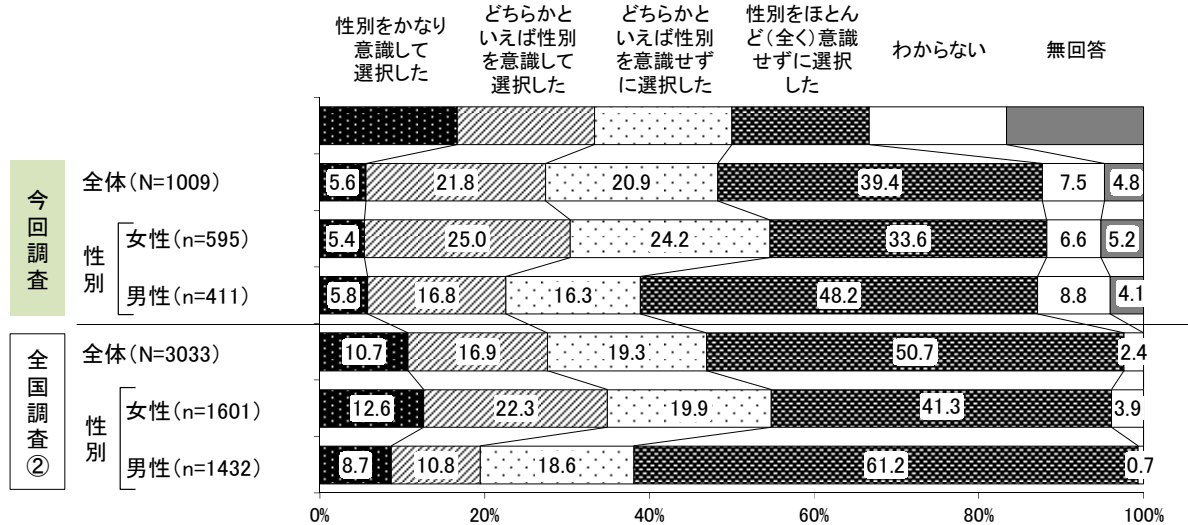
問 10. あなたは、進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。(○印は1つ)

進路や職業を選択する際に、性別を意識したかどうかを尋ねたところ、『意識した』(=「性別をかなり意識して選択した」+「どちらかといえば性別を意識して選択した」)の割合は27.4%、『意識しなかった』(=「性別をほとんど(全く)意識せずに選択した」+「どちらかといえば性別を意識せずに選択した」)の割合は60.3%となっており、『意識しなかった』が『意識した』の割合を2倍以上上回っている。

性別にみると、男女とも『意識しなかった』が『意識した』の割合を上回っているものの、女性は『意識しなかった』(57.8%)が『意識した』(30.4%)の約2倍の割合に対し、男性は『意識しなかった』(64.5%)が『意識した』(22.6%)の約3倍となっており、男性の方が進路や職業を選択する際に性別を意識していないことがうかがわれる。

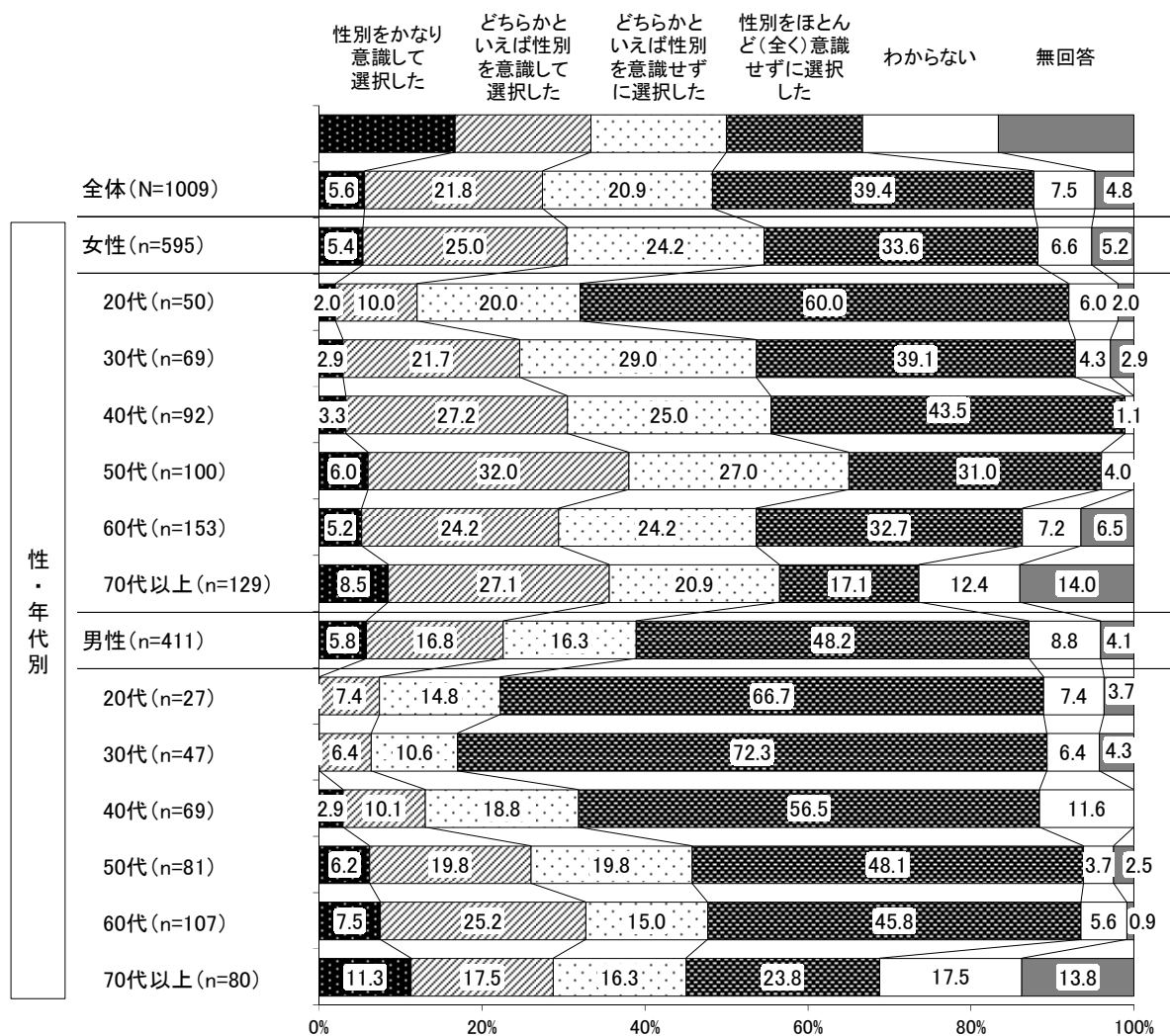
全国調査と比較すると、『意識しなかった』の割合は国の値(70.0%)を下回っている。性別にみても、男女とも国の値を下回っている。

■ 進路・職業の選択時における性別意識 (全体、性別) ■



性・年代別にみると、男女とも年代が下がるにつれて『意識しなかった』と回答した割合が高くなる傾向がみられる。

■進路・職業の選択時における性別意識（性・年代別）■



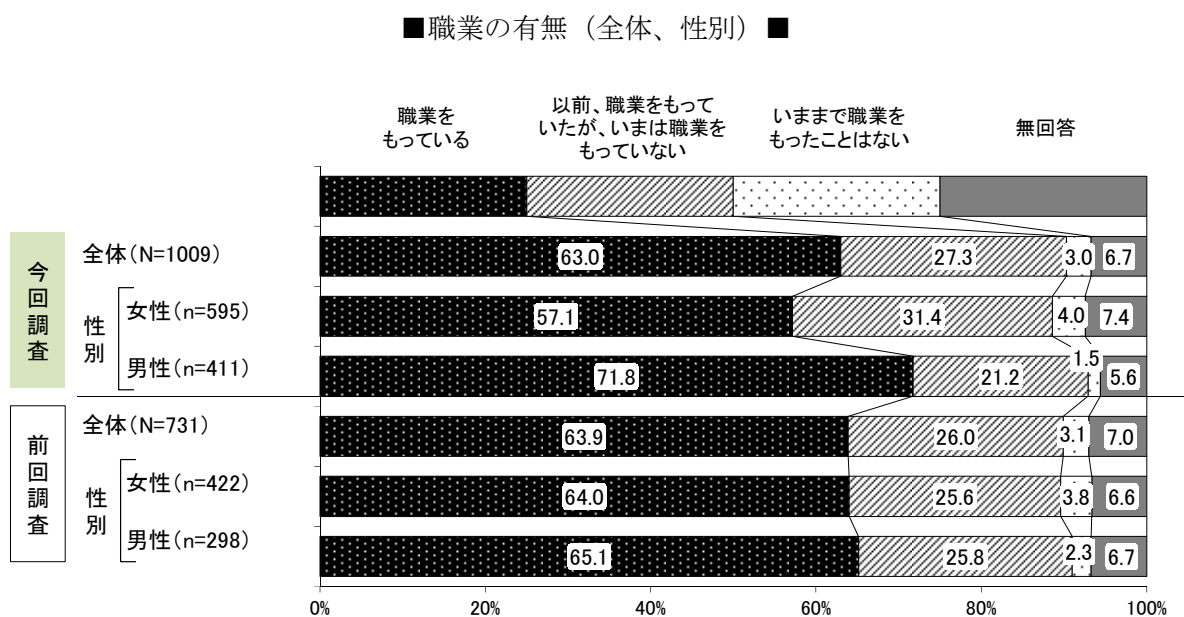
## (2) 職業の有無

問 11. あなたは、現在、職業（育児・介護休業取得中や、内職やパート、アルバイト、自営業や家業なども職業に含みます。ただし、学生アルバイトは含みません）をもっていますか。（○印は1つ）

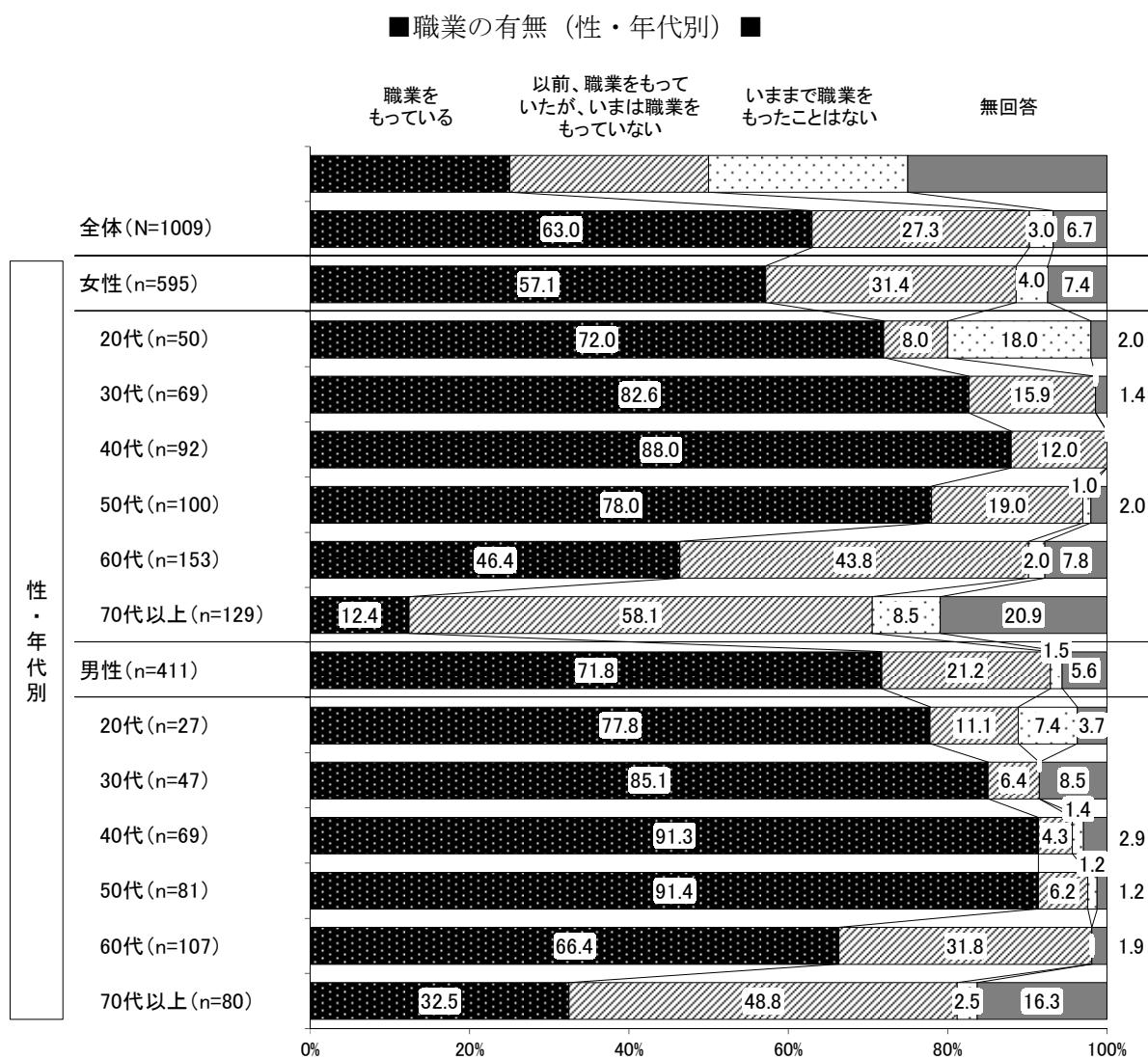
職業の有無について尋ねたところ、「職業を持っている」(63.0%)の割合が最も高く、次いで「以前、職業をもっていたが、いまは職業をもっていない」(27.3%)、「いままで職業をもったことはない」(3.0%)の順となっている。

性別にみると、男女とも全体傾向と同様であるが、「職業をもっている」の割合が男性71.8%に対して女性は57.1%と14.7ポイントの開きがみられる。

前回調査と比較すると、全体傾向に大きな違いはないものの、女性で「職業をもっている」人の割合が前回調査(64.0%)から6.9ポイント減少し、逆に男性は前回調査(65.1%)から6.7ポイント増加している。



性・年代別にみると、女性、男性いずれも20代～60代は「職業をもっている」の割合が最も高いが、70代以上は「以前、職業をもっていたが、いまは職業をもっていない」の割合が最も高くなっている。また「職業をもっている」と回答した割合はいずれの年代も男性が女性を上回っている。男女で「職業をもっている」の割合の差が最も小さいのは40代(3.3ポイント差)、逆に最も大きいのは70代以上(20.1ポイント差)となっている。



### (3) 職種

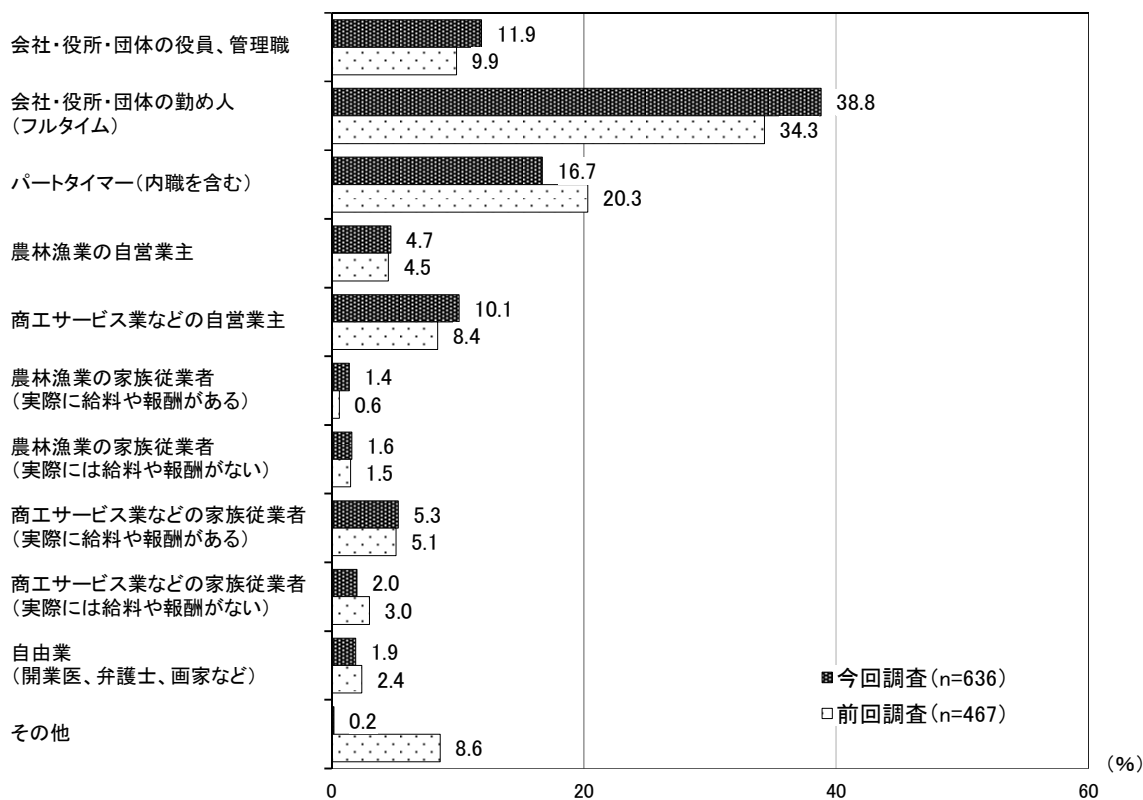
【問 11 で「1. 職業をもっている」と答えた方におたずねします。】

問 11 S Q 1. あなたの職種（仕事内容）は、次のどれでしょうか。（○印は1つ）

職業を持っている人に職種を尋ねたところ、「会社・役所・団体の勤め人（フルタイム）」（38.8%）の割合が最も高く、次いで「パートタイマー（内職を含む）」（16.7%）、「会社・役所・団体の役員、管理職」（11.9%）、「商工サービス業などの自営業者」（10.1%）の順となっている。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

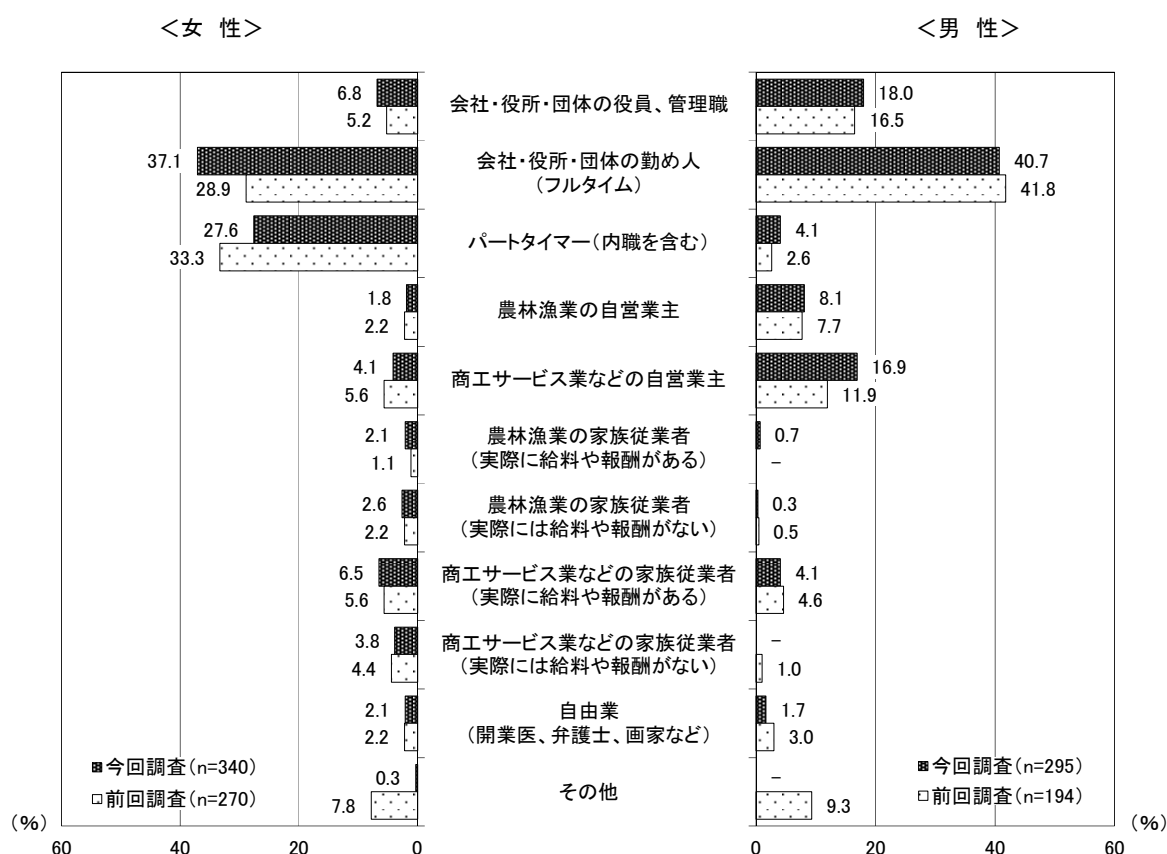
■ 職種（全体） ※職業を持っている人 ■



性別にみると、女性は「会社・役所・団体の勤め人」(37.1%)の割合が最も高く、次いで「パートタイマー(内職を含む)」(27.6%)の順となっている。その他の職種については、いずれも5%前後となっている。一方で男性は、「会社・役所・団体の勤め人(フルタイム)」(40.7%)の割合が最も高く、次いで「会社・役所・団体の役員、管理職」(18.0%)、「商工サービス業などの自営業主」(16.9%)の順となっている。

前回調査と比較すると、女性は前回1位であった「パートタイマー(内職を含む)」の割合が5.7ポイント減少し、前回2位の「会社・役所・団体の勤め人(フルタイム)」が8.2ポイント増加したため、順位の逆転が生じている。男性は大きな変化はみられないが、「商工サービス業などの自営業主」が前回調査より5.0ポイント増加している。

■有職の場合の職種(性別) ※職業を持っている人■



#### (4) 現在の職場の女性にあてはまること

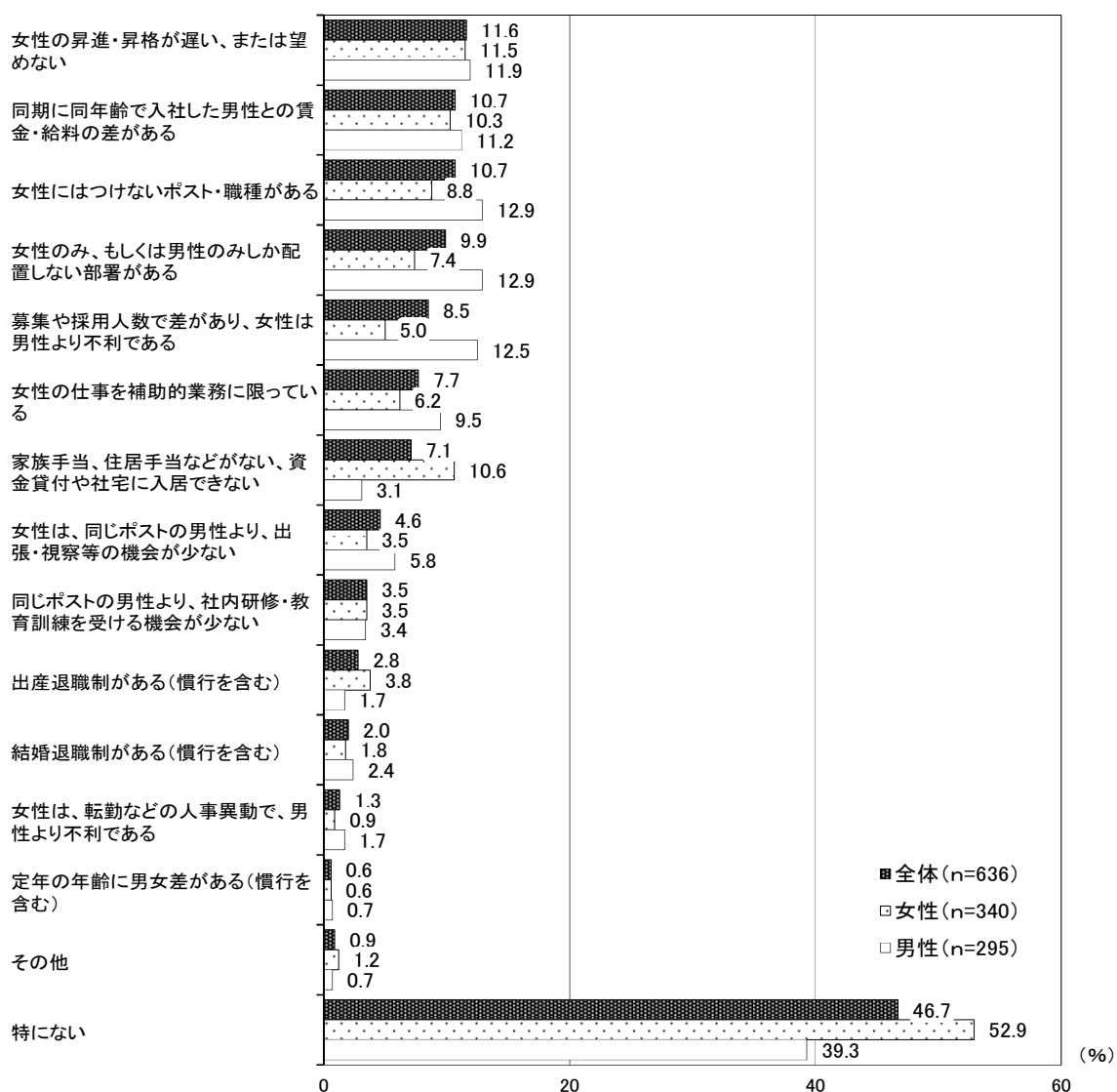
【問 11 で「1. 職業をもっている」と答えた方におたずねします。】

問 11 S Q 2. 現在のあなたの職場の女性にあてはまることがありますか。(○印はいくつでも)

現在の職場の女性にあてはまることを尋ねたところ、「特にない」が 46.7% とほぼ半数を占めている。具体的な項目をみると、「女性の昇進・昇格が遅い、または望めない」の割合が 11.6% と最も高く、次いで「同期に同年齢で入社した男性との賃金・給料の差がある」(10.7%)、「女性にはつけないポスト・職種がある」(10.7%)、「女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある」(9.9%) の順となっている。

性別にみると、大部分の項目で男性の割合が女性を上回っていることから、職場における女性の不利益は男性の方が敏感に感じている傾向がみられる。

■現在の職場の女性にあてはまること（全体、性別）※職業をもっている人■



性・年代別にみると、女性 20 代で「女性のみ、もしくは男性のみしか配置しない部署がある」、「家族手当、住居手当などが無い、資金貸付や社宅に入居できない」、「出産退職制がある（慣行を含む）」の割合が比較的高くなっている。また、男性では「募集や採用人数で差があり、女性は男性より不利である」の割合が全ての年代で女性を上回っている。

■現在の職場の女性にあてはまること（性・年代別）※職業をもっている人■

	サンプル数	い女性のみ、または昇進・昇格が遅い	がある男性との賃金・給料の差	同期に同年齢で入社した女性にはつけないポスト・職種がある	女性のみしか配置しない部署性	女性のみ、もしくは男性である	募集や採用人数で差がある	女性の仕事に補助的業務に限っている	に入居できない資金貸付や社宅	家族手当、住居手当などがない	機会が少なく出張・視察等の男性は、同じポストの男性より、同じポストの男性より、社内研修・教育訓練を受けにくい	同じポストの男性より、社内研修・教育訓練を受けにくい	出産退職制がある（慣行を含む）	結婚退職制がある（慣行を含む）	異なる女性より不利な人事	定年の年齢に男女差がある（慣行を含む）	その他	特になし	無回答
全体	636	11.6	10.7	10.7	9.9	8.5	7.7	7.1	4.6	3.5	2.8	2.0	1.3	0.6	0.9	46.7	15.4		
性・年代別	女性計	340	11.5	10.3	8.8	7.4	5.0	6.2	10.6	3.5	3.5	3.8	1.8	0.9	0.6	1.2	52.9	12.9	
	20代	36	11.1	13.9	8.3	16.7	11.1	8.3	19.4	2.8	5.6	11.1	5.6	2.8	-	-	47.2	5.6	
	30代	57	15.8	5.3	7.0	5.3	1.8	5.3	12.3	3.5	1.8	3.5	1.8	-	1.8	1.8	63.2	1.8	
	40代	81	13.6	11.1	9.9	7.4	3.7	2.5	13.6	3.7	3.7	4.9	-	1.2	-	1.2	58.0	8.6	
	50代	78	14.1	14.1	10.3	6.4	6.4	5.1	11.5	3.8	3.8	3.8	2.6	1.3	-	2.6	52.6	14.1	
	60代	71	5.6	9.9	7.0	5.6	5.6	11.3	2.8	4.2	4.2	-	1.4	-	1.4	-	46.5	21.1	
	70代以上	16	-	-	12.5	6.3	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	37.5	43.8	
	女性・年齢無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	男性計	295	11.9	11.2	12.9	12.9	12.5	9.5	3.1	5.8	3.4	1.7	2.4	1.7	0.7	0.7	39.3	18.3	
	20代	21	9.5	9.5	9.5	9.5	19.0	14.3	4.8	14.3	4.8	-	-	9.5	-	-	52.4	-	
	30代	40	15.0	15.0	12.5	27.5	12.5	15.0	5.0	2.5	2.5	5.0	5.0	-	-	-	42.5	15.0	
	40代	63	20.6	17.5	12.7	9.5	19.0	11.1	3.2	6.3	3.2	1.6	1.6	1.6	-	1.6	36.5	17.5	
	50代	74	13.5	6.8	20.3	10.8	9.5	6.8	2.7	4.1	5.4	2.7	2.7	1.4	2.7	-	41.9	12.2	
60代	71	5.6	11.3	11.3	14.1	8.5	7.0	2.8	5.6	1.4	-	1.4	-	-	-	33.8	28.2		
70代以上	26	-	3.8	-	3.8	11.5	7.7	-	7.7	3.8	-	3.8	3.8	-	3.8	38.5	30.8		
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	

(単位:%)



## (5) 現在、職業についていない理由

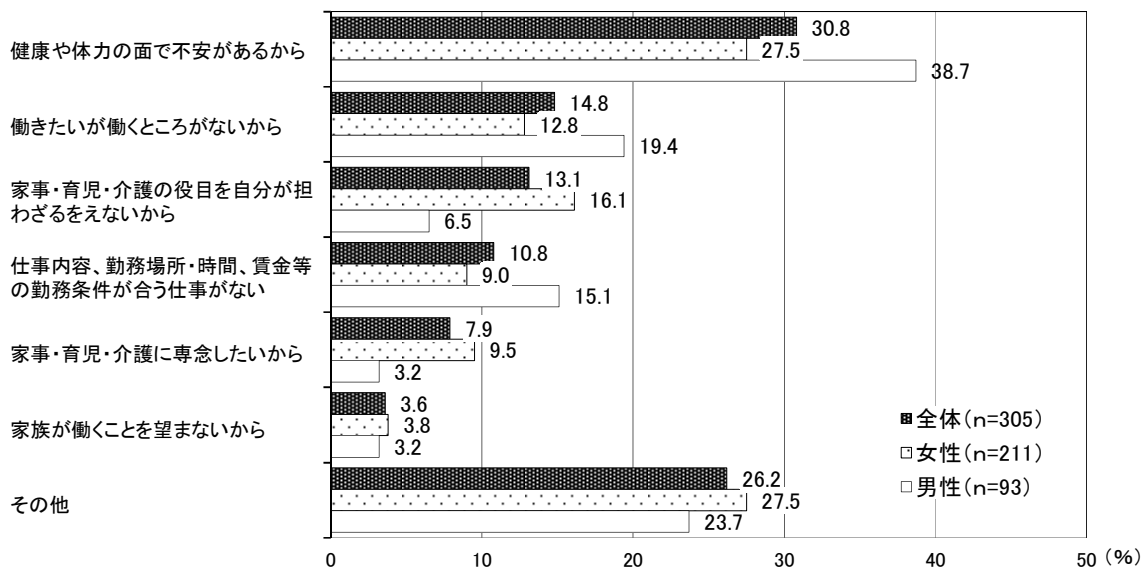
【問 11 で「2. 以前、職業をもっていたが、いまは職業をもっていない」または「3. いままで職業をもったことはない」と答えた方におたずねします。】

問 11 S Q 3. 現在、職業についていない理由は何ですか。(〇印はいくつでも)

現在、職業についていない理由を尋ねたところ、「健康や体力の面で不安があるから」の割合が30.8%で最も高く、次いで「働きたいが働くところがないから」(14.8%)、「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」(13.1%)、「仕事内容、勤務場所・時間、賃金等の勤務条件が合う仕事がない」(10.8%)の順となっている。「その他」の割合が2割以上となっているが、大部分が「高齢であるから」、「定年退職をしたから」という回答であった。

性別にみると、男女とも「健康や体力の面で不安があるから」の割合が最も多いものの、女性は「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」、「家事・育児・介護に専念したいから」の割合が男性を大きく上回っていることから、家事・育児・介護について女性が担っている部分の大きいことがうかがえる。

■ 現在、職業についていない理由 (全体、性別) ※職業をもっていない人 ■



性・年代別にみると、全ての年代において「家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから」、  
「家事・育児・介護に専念したいから」で女性の割合が男性を上回っている。

■現在、職業についていない理由（性・年代別）※職業をもっていない人■

	サンプル数	健康や体力の面から不安があるから	働きたいが働くところがないから	家事・育児・介護の役目を自分が担わざるをえないから	家事・育児・介護の役目が合う仕事がない	仕事内容、勤務場所・時間が賃金等の勤務条件に合わないから	家事・育児・介護に専念したいから	家族が働くことを望まないから	その他	無回答
全体	305	30.8	14.8	13.1	10.8	7.9	3.6	26.2	18.4	
性・年代別	女性計	211	27.5	12.8	16.1	9.0	9.5	3.8	27.5	18.0
	20代	13	-	15.4	7.7	15.4	7.7	-	53.8	15.4
	30代	11	27.3	18.2	45.5	45.5	36.4	-	9.1	-
	40代	11	27.3	9.1	36.4	36.4	18.2	-	9.1	9.1
	50代	20	35.0	20.0	25.0	5.0	15.0	5.0	5.0	15.0
	60代	70	34.3	14.3	20.0	10.0	8.6	4.3	24.3	12.9
	70代以上	86	24.4	9.3	5.8	-	4.7	4.7	36.0	26.7
	女性・年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性計	93	38.7	19.4	6.5	15.1	3.2	3.2	23.7	19.4
	20代	5	-	-	-	40.0	-	-	40.0	20.0
	30代	3	66.7	66.7	-	66.7	-	-	-	33.3
	40代	4	50.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-
	50代	6	33.3	33.3	16.7	33.3	-	-	16.7	16.7
60代	34	41.2	14.7	11.8	17.6	5.9	2.9	26.5	8.8	
70代以上	41	39.0	17.1	2.4	2.4	2.4	4.9	24.4	29.3	
無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	

(単位:%)

## (6) 今後の就職の意思

【問 11 で「2. 以前、職業をもっていたが、いまは職業をもっていない」または「3. いままで職業をもったことはない」と答えた方におたずねします。】

問 11 S Q 4. あなたは、今後職業をもちたいと思いますか。(○印は1つ)

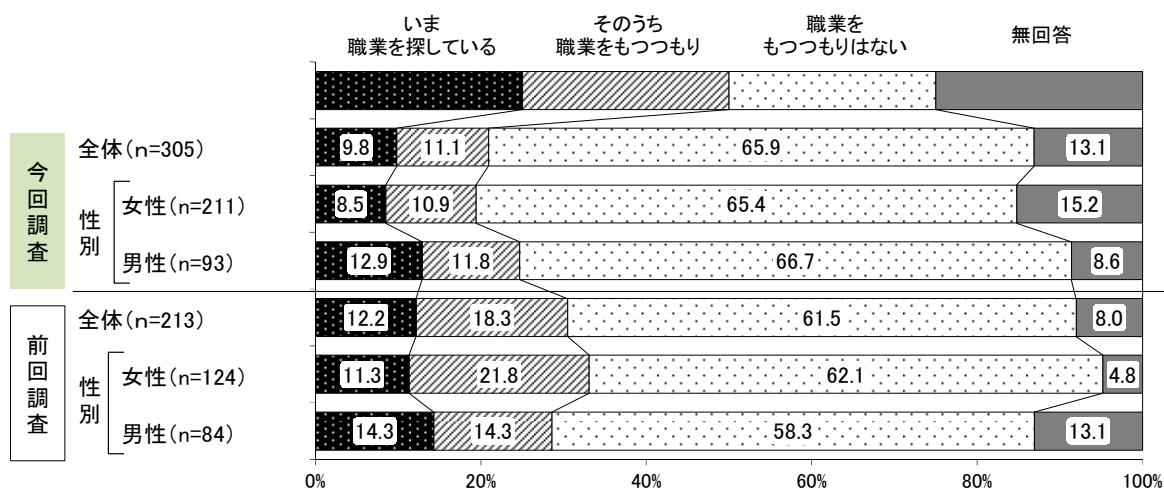
職業をもっていない人に今後職業をもちたいかどうか尋ねたところ「職業をもつつもりはない」(65.9%)の割合が過半数を占め、次いで「そのうち職業をもつつもり」(11.1%)、「いま職業を探している」(9.8%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「職業をもつつもりはない」と回答した人が6割強となっており、全体とほぼ同様の傾向を示している。

前回調査と比較すると、「そのうち職業をもつつもり」の割合が7.2ポイント減少し、「職業をもつつもりはない」が4.4ポイント増加しており、就労意欲の減少がみられる。

性別にみると、女性で「そのうち職業をもつつもり」の割合が前回調査(21.8%)より10.9ポイント減少し、男性では「職業をもつつもりはない」が前回調査(58.3%)より8.4ポイント増加している。

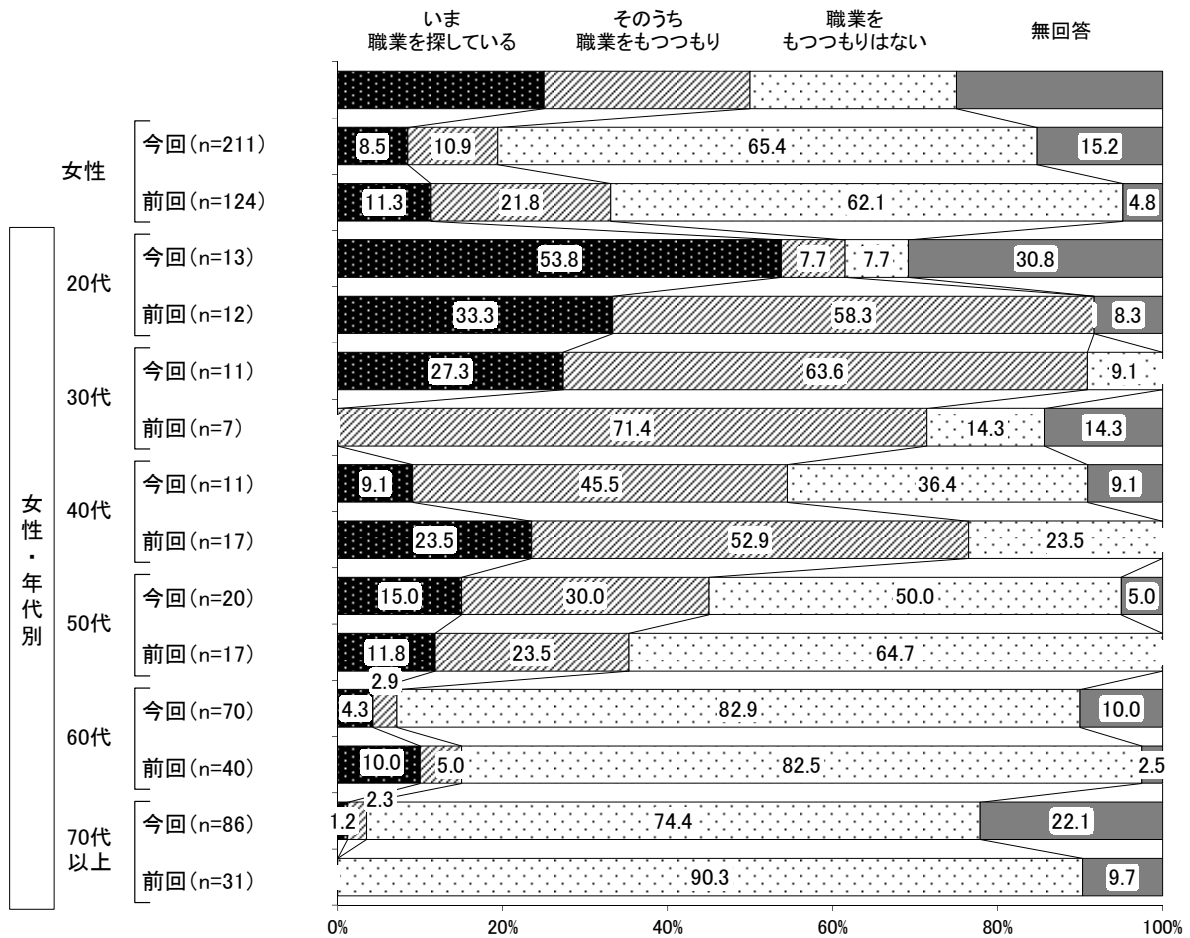
■今後の就職の意思(全体、性別) ※職業をもっていない人■



女性を年代別にみると 50 代まではサンプル数は少ないものの、「そのうち職業をもつつもり」と回答した割合が比較的高い傾向がみられる。

前回調査と比較すると、20 代、30 代の若い年代で「いま職業をさがしている」の割合が大きく増加している。

■今後の就職の意思（女性・年代別）※職業を持っていない人■



## (7) 望ましい就労形態

【問 11SQ4で「1. いま職業を探している」または「2. そのうち職業をもつつもり」と答えた方におたずねします。】

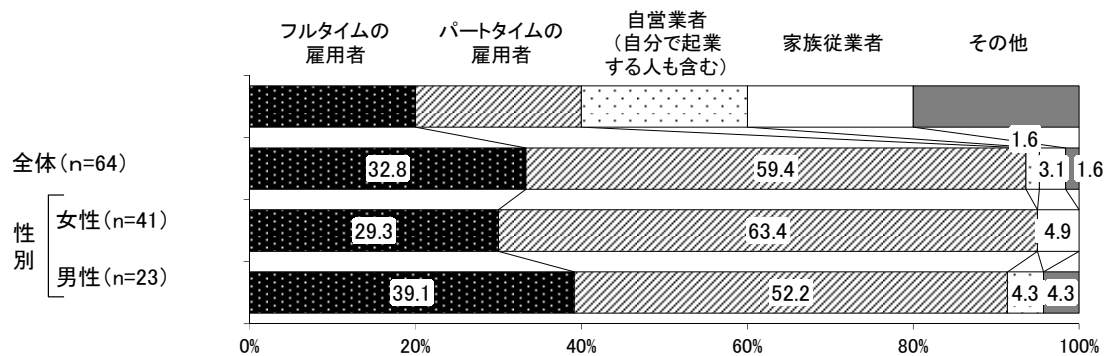
問 11SQ4-1. では、どのような雇用形態で働きたいと思いますか。(○印は1つ)

就労を希望している人に、望ましい就労形態を尋ねたところ「パートタイムの雇用者」(59.4%)の割合が最も高く、次いで「フルタイムの雇用者」(32.8%)、「家族従業者」(3.1%)の順となっている。

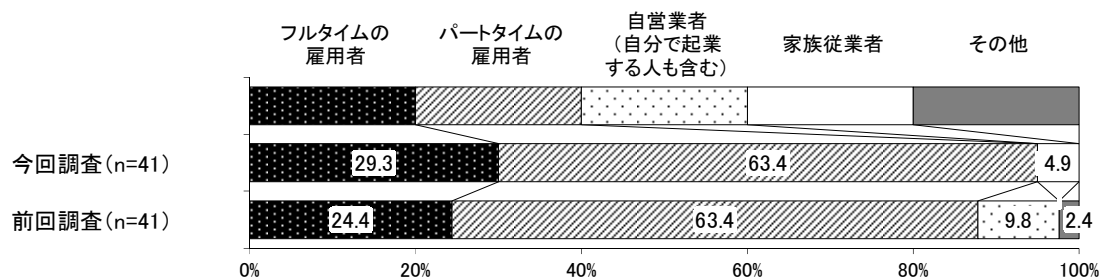
性別にみると男女とも「パートタイムの雇用者」が過半数を占め最も多くなっている。

女性について前回調査と比較すると、「フルタイムの雇用者」は前回調査(24.4%)より4.9ポイント増加しており、「自営業者(自分で起業する人も含む)」の割合がゼロとなっている。

■望ましい就労形態(全体、性別) ※就職を希望している人■



■望ましい就労形態(女性のみ) ※就職を希望している人■



## (8) 女性が職業をもつことについての考え方

問 12. 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。(○印は1つ)

一般的に女性が職業をもつことについて、どのような考えを持っているか尋ねたところ、「ずっと職業をもっている方がよい」(47.5%)と「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(29.9%)の2つで回答の約8割を占めている。

性別にみると、男女とも「ずっと職業をもっている方がよい」と「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が高く、大きな差はみられない。

前回調査と比較すると、「ずっと職業をもっている方がよい」が前回調査(42.3%)から5.2ポイント増加し、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が前回調査(38.6%)から8.7ポイント減少している。この傾向は性別にみても同様である。

福岡県調査と比較すると、「ずっと職業をもっている方がよい」と回答した人の割合は、県の値(49.2%)とほぼ同率であり、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は県の値(35.3%)を下回っている。この傾向は性別にみても同様であり、男性で強くみられる。

全国調査と比較すると、「ずっと職業をもっている方がよい」と回答した人の割合は、国の値(44.8%)をやや上回っており、逆に「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は国の値(31.5%)をわずかながら下回っている。この傾向は性別にみても同様である。

■女性が職業をもつことについての考え方（全体、性別）■

